

提供日 2016/9/14(水)

タイトル 県立総合病院で内視鏡を使った新しい喘息治療が受けられます

担当 県立総合病院 総務課

連絡先 県立総合病院 総務課 TEL 054-247-6111(代)



～ともしつくる 信頼と安心の医療～

県立総合病院で内視鏡を使った新しい喘息治療が受けられます

(要 旨)

重症喘息の患者に対する気管支鏡を用いた気管支サーモプラスティ療法（BT）が、平成27年4月から保険適用となりました。

静岡県立総合病院では、平成27年12月に県内で初めて気管支サーモプラスティ療法を導入し、専門医療チームによる治療を開始しました。

導入前は、治療が必要な方は県外で受診する必要がありましたが、現在は県内で受診することができるため、県民の利便性が高まりました。

当院では、県下の医療機関からご紹介を受け、治療後は従来の医療機関で治療を続けていただく地域連携を提案しています。

(概 要)

気管支サーモプラスティ療法とは、気管支鏡を通して電極カテーテルを挿入し、気管支壁を約65℃に10秒間加熱する手技です。それにより、喘息の原因である気道の肥厚した平滑筋の量を減少させて気道の収縮性を抑制し、重症の喘息発作の予防になります。

本治療法により、喘息症状が緩和し、生活の質が向上します。

治療は、3週間の間隔を空け3回の処置を行い、1回につき3～5日程度の短期入院が必要です。

術後は、喘息専門医による薬物治療により喘息症状の管理を継続します。

1 背景

喘息は、呼吸器疾患の中でも有病率の高い疾患で、日本で喘息症状を持つ人口は数百万人と推定され、通院患者は100万人程度です。現在のところ喘息を根治させる治療法はなく、その症状に応じて複数の喘息薬を組み合わせ、用量を加減して喘息症状をコントロールする薬物治療が主となっています。

しかしながら、薬物治療だけでは喘息症状をコントロールできない重症度の高い患者は有効な治療法が無く、喘息発作の不安を抱え、日常生活が大きく制限されています。

2 適用となる患者

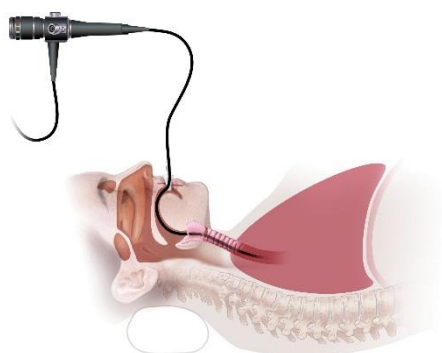
気管支鏡手技が可能で、薬物治療で喘息発作がコントロールできない成人

3 期待される効果

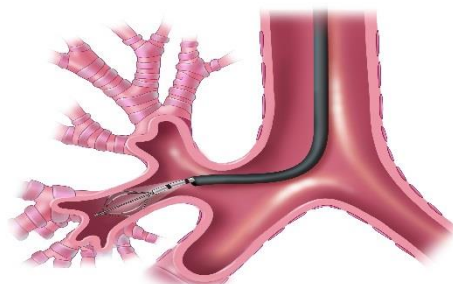
重症の喘息発作の発生頻度の減少

呼吸器症状による救急外来の受診回数の減少

(気管支サーモプラスティ療法イメージ)

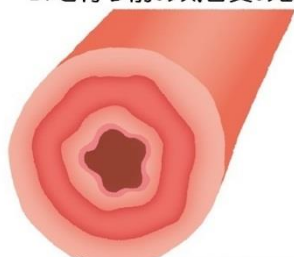


© 2016 Boston Scientific Corporation. All rights reserved.



© 2016 Boston Scientific Corporation. All rights reserved.

BTを行う前の気管支の断面



© Boston Scientific Corporation. All rights reserved.
気管支の周りの筋肉が厚くなっている
空気の通り道が狭くなりやすい状態

BTを行った後の気管支の断面



© Boston Scientific Corporation. All rights reserved.
気管支を温めると筋肉が薄くなる
気管支が狭くなりにくくなっている

(問合せ先)

静岡県立総合病院 総務課

静岡市葵区北安東4-27-1

電話：054-247-6111 (代)